

### 《夜遊びして朝帰り》

「あなたは夜遊びをして朝帰りするか」の質問に関しては、頻度を 4 段階に分け、「毎週末」、「月に 1-2 回くらい」、「2-3 月に 1 回くらい」そして「しない」という選択肢、及び「その他」を設けた。

そこで、年齢が高くなるにつれ、「遊びで朝帰り」する生徒が増加している。また、非常に低年齢 13 歳くらいも既に「朝帰り」をしていることが分かった(表 11)。

表 11: ブラジル人学校調査 2007

「夜遊びをして朝帰りする」回答者の年齢分布: 「毎週末」+「月に 1-2 回」+「2-3 ヶ月に 1 回」

	13 歳-15 歳	16 歳-19 歳
女子	30.9% (83/269)	57% (86/151)
男子	30.3% (61/201)	57.5% (88/153)

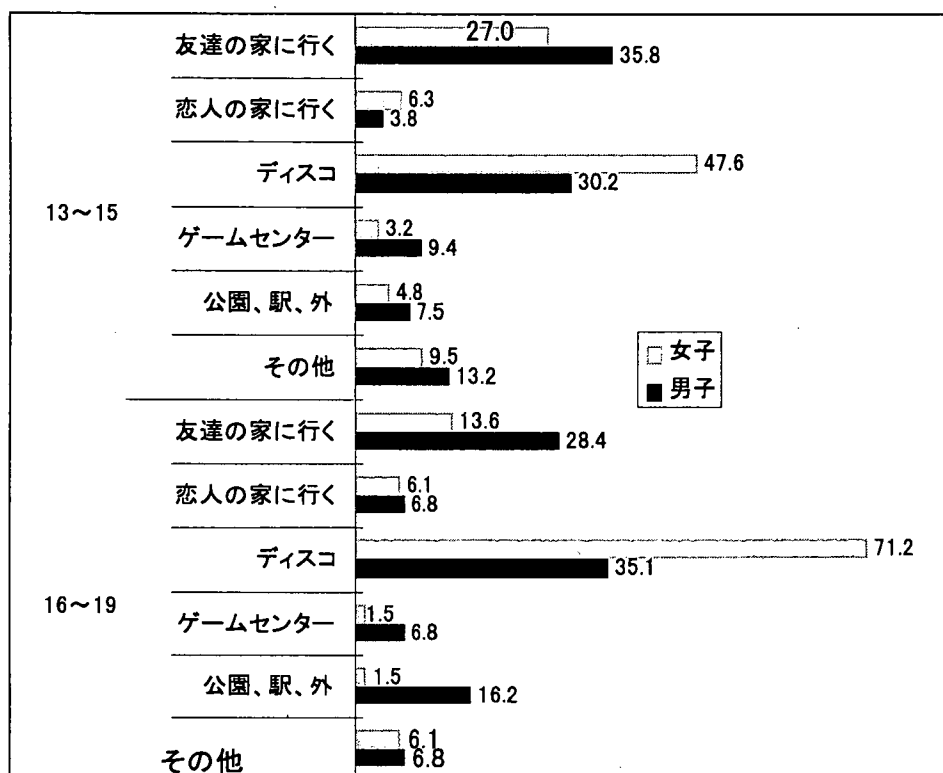
「夜遊びして朝帰り」と回答した生徒のうち、「あなたは両親の容認を受けずに朝帰りするか」と言う質問に対して「両親の容認」を受けての「朝帰り」はそのほとんどで、「両親は朝帰りさせる」及び「両親が許可した時だけ朝帰りする」の回答をあわせて、男女・年齢を問わずに 95% 以上が両親の容認上で朝帰りをしていた(表 12)。

表 12: ブラジル人学校調査 2007: 朝帰りへの両親の容認-年齢群・男女別

年齢	項目	女子		男子	
		度数	%	度数	%
13～15 歳	両親は夜遊び、朝帰りをさせてくれる	25	<u>31.6</u>	26	<u>46.4</u>
	週末だけ	1	1.3	1	1.8
	月に 1,2 回	2	2.5		
	2,3 ヶ月に 1 回	1	1.3	1	1.8
	両親が許可したときだけ朝帰りをする	47	<u>59.5</u>	25	<u>44.6</u>
	その他	3	3.8	3	5.4
	合計	79	100.0	56	100.0
16～19 歳	両親は夜遊び、朝帰りをさせてくれる	26	<u>31.0</u>	52	<u>60.5</u>
	週末だけ	1	1.2		
	月に 1,2 回	1	1.2	1	1.2
	2,3 ヶ月に 1 度	2	2.4	1	1.2
	両親が許可したときだけ朝帰りをする	52	<u>61.9</u>	28	<u>32.6</u>
	その他	2	2.4	4	4.7
	合計	84	100.0	86	100.0

両親の容認を問わず、「夜遊びで朝帰りをする」と回答した生徒に、その遊び「場所」を複数回答で質問し、その答えは、女子で最も多かったのが「ディスコ」で 13-15 歳の女子では約 47.6%、そして、16 から 19 歳の女子では「ディスコ」に行く回答した人は 71.2%であった。一方、男子では、低年齢の回答者の間では「友達の家」が最も多く 35.8%であった、そして、16 歳以上の男子では「ディスコ」が最も多くの人が行っている(35.1%)(図 18)。

図 18: ブラジル人学校調査 2007: 「夜遊びして朝帰りする」時の遊び場-年齢群・男女別



#### 《携帯電話の所持率》

全体的の携帯電話の所持率は約 8 割であったが、13-15 歳では男女共に約 7 割、そして、16-19 歳の生徒では約 9 割に増加している(表 13)。

表 13:「年齢・性別」における携帯の所持率

年齢	項目	女子		男子	
		度数	%	度数	%
13～15 歳	携帯電話を持っている	223	<u>79.4</u>	153	<u>72.5</u>
	携帯電話を持っていない	58	20.6	58	27.5
	合計	281	100.0	211	100.0
16～19 歳	携帯電話を持っている	142	<u>91.0</u>	140	<u>87.5</u>
	携帯電話を持っていない	14	9.0	20	12.5
	合計	156	100.0	160	100.0

《インターネットへのアクセス》

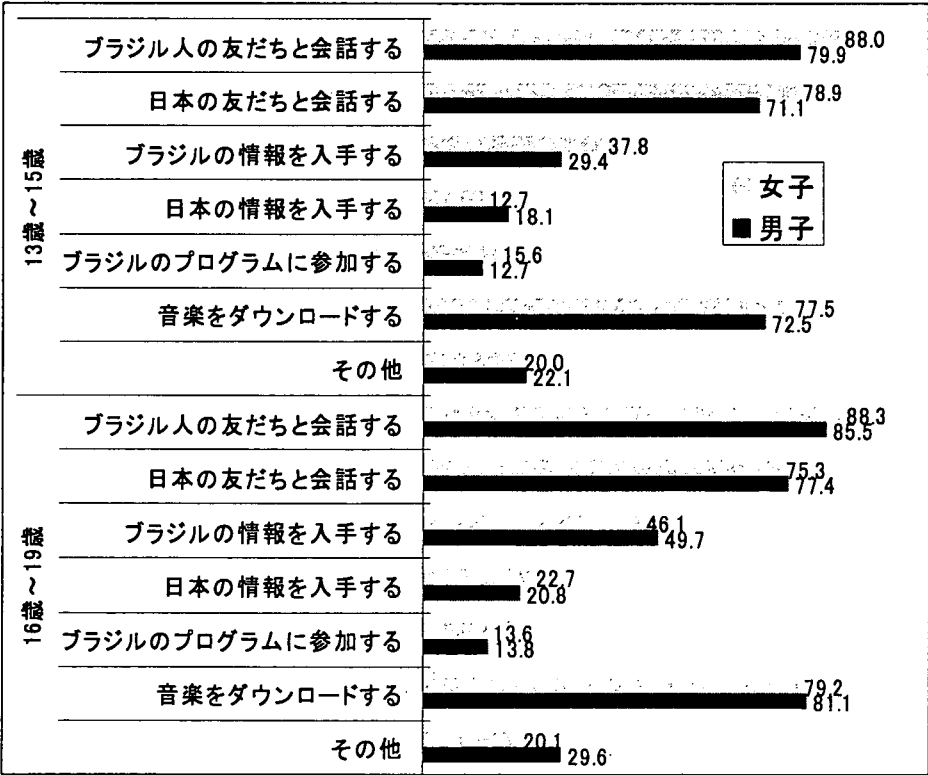
全体的に、インターネットへのアクセスは男女・年齢を問わず、約 9 割強が経験があり、そしてその頻度に関しては、「毎日」が約 8 割をしめ、「週に 3-4 回」が約 1.6 割であった(表 14)。

表 14:ブラジル人学校調査 2007:「年齢・性別」におけるインターネットへのアクセス頻度

年齢	項目	女子		男子	
		度数	%	度数	%
13～15 歳	毎日	217	80.1	165	80.9
	週に 3,4 回	42	15.5	30	14.7
	月に 3,4 回	12	4.4	9	4.4
	合計	271	100.0	204	100.0
16～19 歳	毎日	121	78.6	125	79.1
	週に 3,4 回	25	16.2	28	17.7
	月に 3,4 回	8	5.2	5	3.2
	合計	154	100.0	158	100.0

そして、インターネットへのアクセスの目的としては、複数回答の質問に対して、最も多かったのが「ブラジルの友達とコミュニケーションをとる」で全体の約 8 割強であった。その次に「音楽のダウンロード」が約 8 割、そして、「日本にいる友達とコミュニケーション」が約 7 割であった(図 19)。

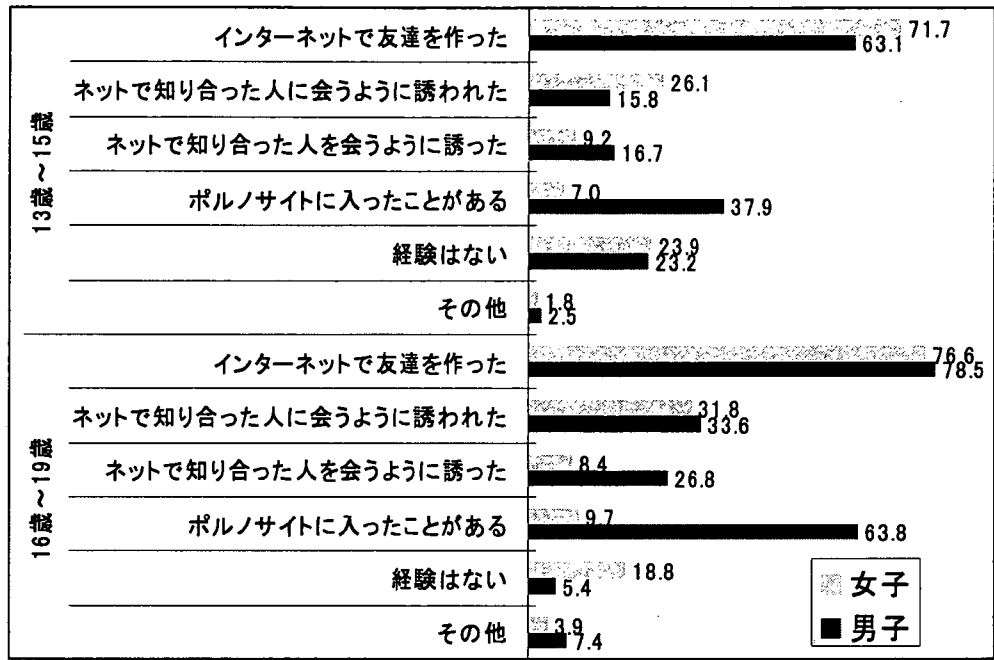
図 19:ブラジル人学校調査 2007:インターネットへのアクセス目的-年齢群・男女別



インターネット上での経験:

インターネット使用上、「ネット友達を作った」、「ネット上で知り合った人に会うように誘われた」、「ネット上でし合った人を会うように誘った」、「ポルノサイトに入った」、そして「あげられた経験はない」と言う5つの項目に対して、経験が「ある」か「ない」かの質問に対して、約 7 割が「ネット友達を作った」と回答した、そして女子では約3割が「ネット上で知り合った人に会うように誘われた」経験があり、また、男子では特に 16 歳以上では約 6 割が「ポルノサイトに入った」と回答した(図 20)。

図 20:ブラジル人学校調査 2007:インターネットにおける経験-年齢群・男女別



《他の経験》

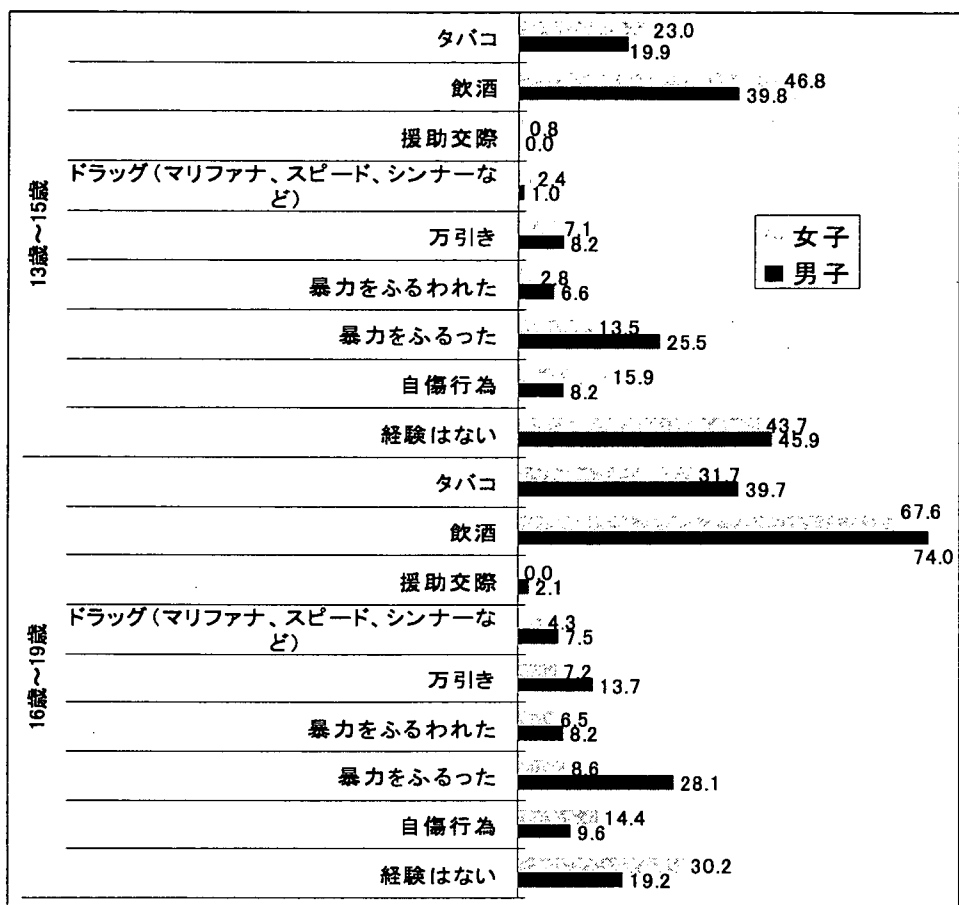
一般的に自己にマイナスを及ぼす可能性のある行動として「タバコ」、「飲酒」、「援助交際」、「ドラッグ」、「万引き」、「暴力をふるわれた」、「暴力をふるった」、「自傷行為」などについての経験の有無を質問し、その結果は次の通りであった。

全体的に「タバコ」を吸った経験のある生徒は約 2-3 割、年齢が高くなるにつれ、経験している人が多くなる。「飲酒」に関しては、全体的に 4 割から 7 割で、年齢が高くなるにつれ飲酒経験が多くなる。また、「ドラッグ」の経験に関しては特に 16 歳～19 歳の男子で経験率が高く、7.4%であった。また、「自傷行為」については、全体的に約 1 割が経験しており、女子では 15%前後であった(表 15)。

表 15:ブラジル人学校調査 2007:様々な経験への暴露-年齢群・男女別

年齢	項目	女子		男子	
		度数	%	度数	%
13～15 歳	タバコ	58	23.0	39	19.9
	飲酒	118	46.8	78	39.8
	援助交際	2	0.8	0	0.0
	ドラッグ	6	2.4	2	1.0
	万引き	18	7.1	16	8.2
	暴力をふるわれた	7	2.8	13	6.6
	暴力をふるった	34	13.5	50	25.5
	自傷行為	40	15.9	16	8.2
	経験はない	110	43.7	90	45.9
	合計	252	100.0	196	100.0
16～19 歳	タバコ	44	31.7	58	39.7
	飲酒	94	67.6	108	74.0
	援助交際	0	0.0	3	2.1
	ドラッグ	6	4.3	11	7.5
	万引き	10	7.2	20	13.7
	暴力をふるわれた	9	6.5	12	8.2
	暴力をふるった	12	8.6	41	28.1
	自傷行為	20	14.4	14	9.6
	経験はない	42	30.2	28	19.2
	合計	139	100.0	146	100.0

図 21:ブラジル人学校調査 2007:様々な経験への暴露-年齢群・男女別



そして、「タバコ」及び「飲酒」については現在も吸っているか、又は、飲酒していると聞き、さらにその頻度の質問に対して、「タバコ」に関しては経験者のうち、現在も続いているのは19.1%で、いつも吸うは3.6%、そして時々吸うは15.5%。

「飲酒」に関しては、経験者のうち、75.4%が現在も飲酒しており、いつも飲酒する人が3.7%、そして時々飲酒するが71.7%であった(表16)。

表 16: ブラジル人学校調査 2007: 「タバコ」及び「飲酒」経験者における現在の使用率

現在、どのくらいの頻度でタバコを吸いますか？		
頻度	度数	%
いつも吸う	7	3.6
時々吸う	30	15.5
現在は吸わない	157	80.9
合計	194	100.0
現在、どのくらいの頻度で飲酒をしますか？		
頻度	度数	%
いつも飲む	14	3.7
時々飲む	273	71.7
現在は飲まない	94	24.7
合計	381	100.0

《付き合い、性交渉やコンドーム使用》

「その場限り」の付き合いに関しては、全体的に 74.3%が経験あり、特に年齢の高い層では、女子では 84.3%が「その場限り」の付き合い経験があり、そして、男子では 78%が経験がある。

また、「その場限りの付き合い」に関しての「初めての経験」の平均年齢は、女子での 13 歳から 15 歳までのグループでは 11.7 歳、そして 16 歳から 19 歳までのグループでは 12.6 歳であった。そして、それぞれの中央値は 12 歳と 13 歳であった(表 17)。

男子に関しては低年齢グループでの「はじめてのその場限りの付き合い」の平均年齢は 11.2 歳、16 歳以上のグループでは 12.1 歳であった。また、それぞれの中央値は共に 12 歳であった。

「その場限り」の「相手の人数」に関しては、女子低年齢グループでは 2.6 人で、高年齢グループでは 1.6 人であった。そして、男子の「相手人数」は低年齢グループでの平均人数は 2.1 人で高年齢グループでは 2.3 人であった(表 18)。

表 17: :ブラジル人学校調査 2007:「その場限りの付き合い」経験ありの%-年齢群・男女別

「その場限り」付き合い 経験あり	年齢	女子		男子	
		人数	%	人数	%
	13 歳～15 歳	199/276	72.1	140/209	67.0
	16 歳～19 歳	129/153	84.3	124/159	78.0

表 18: :ブラジル人学校調査 2007:

「その場限りの付き合い」における「初めての年齢」及び「相手人数」-年齢群・男女別

			初めての時の の年齢	相手の 人数
「その場限り」の使い経験者				
女性	13 歳～15 歳	平均値	11.7	<u>2.6</u>
		中央値	12	1
		度数	192	168
	16 歳～19 歳	平均値	12.6	1.6
		中央値	13	1
		度数	126	109
男性	13 歳～15 歳	平均値	11.2	2.1
		中央値	12	1
		度数	138	118
	16 歳～19 歳	平均値	12.1	<u>2.3</u>
		中央値	12	1
		度数	118	109

「ステディー・真剣」な付き合い、に関しては、13 歳から 15 歳の女子では 43.2%が経験あり、そして、16 歳から 19 歳までのグループでは 61.2%で最も高かった。男子では低年齢群では 31.6%が経験があ



ると回答して、16 歳以上の群では 51%が経験があると答えた。

また、「ステディー」は付き合いに關しての「初めての経験」の平均年齢は、女子での 13 歳から 15 歳までのグループでは 13.1 歳、そして 16 歳から 19 歳までの群では 14.5 歳であった。そして、それぞれの中央値は 13 歳と 15 歳であった(表 19)。

男子に關しては低年齢群での「はじめてのステディーな付き合い」の平均年齢は 12.8 歳で、16 歳以上のグループでは 14.6 歳であった。また、それぞれの中央値は 13 歳と 15 歳であった。

そして、その相手の人数に關しては、女子では両年齢群で平均的に 1.7 人で、男子では低年齢群で 2.0 人と高年齢群では 1.7 人であった(表 20)。

表 19: :ブラジル人学校調査 2007:「ステディーな付き合い」経験ありの%-年齢群・男女別

「ステディー」な付き合い 経験あり	年齢	女子		男子	
		人数	%	人数	%
	13 歳～15 歳	117/271	43.2	65/206	31.6
	16 歳～19 歳	93/152	61.2	77/151	51.0

表 20: :ブラジル人学校調査 2007:「ステディーな付き合い」における「初めての年齢」及び「相手人数」-年齢群・男女別

「ステディーな使い」の経験者: 初めての年齢・相手人数				
女性	13 歳～15 歳	平均値	13.1	<u>1.7</u>
		中央値	13	2
		度数	116	111
	16 歳～19 歳	平均値	14.5	<u>1.7</u>
		中央値	15	1
		度数	92	90
男性	13 歳～15 歳	平均値	12.8	<u>2.0</u>
		中央値	13	2
		度数	62	62
	16 歳～19 歳	平均値	14.6	1.7
		中央値	15	1
		度数	75	73

「セックス経験」に關しては男女共に 13 から 15 歳までの群での経験率は約 14%であったが、16 から 19 歳の群での経験率は約 36%に上昇している(表 21)。

表 21: :ブラジル人学校調査 2007:「性」経験ありの%-年齢群・男女別

「セックス」 の経験あり	年齢	女子		男子	
		人数	%	人数	%
	13 歳～15 歳	40/275	14.5	30/210	14.3
	16 歳～19 歳	54/149	36.2	58/157	36.9

また、「初めての性経験」の平均年齢は、女子での 13 歳から 15 歳までのグループでは 13.7 歳、そして 16 歳から 19 歳までの群では 15.3 歳であった。そして、それぞれの中央値は 14 歳と 15 歳であった。

男子に関しては、「はじめての性経験」の平均年齢は、13 歳から 15 歳の群では 13.2 歳、そして 16 歳から 19 歳まででは 14.7 歳であった。そして、それぞれの中央値は 13 歳と 15 歳であった。

そして、相手の人数に関しては、女子の低年齢群では平均的に 1.6 人であり、高年齢群では 1.5 人であった。また、男子では、今までのセックス相手の平均人数は低年齢群で 2.9 人、そして、高年齢群では 4.3 人に上昇していた(表 22)。

【付き合いや性経験】について、はじめての「その場限りの付き合い」、「ステディーな付き合い」、「セックス経験」の年齢に関して、男女共に 13-15 歳のグループと 16-19 歳のグループを比べると、低年齢のグループがより低年齢でそれぞれの「はじめての体験」をしていることが分かった。そして、それぞれの経験における相手の人数については、女子群では低年齢のグループが相手の人数が多い傾向が見られた。

表 22: :ブラジル人学校調査 2007:

「性経験」における「初めての年齢」及び「相手人数」-年齢群・男女別

「セックス」経験者: 初めての年齢・相手人数				
女性	13 歳～15 歳	平均値	13.7	<u>1.6</u>
		中央値	14	1
		度数	39	38
	16 歳～19 歳	平均値	15.3	1.5
		中央値	15	1
		度数	54	51
男性	13 歳～15 歳	平均値	13.2	2.9
		中央値	13	2
		度数	27	26
	16 歳～19 歳	平均値	14.7	<u>4.3</u>
		中央値	15	2
		度数	55	53

《コンドーム使用》

「性経験者」に対して、「コンドーム使用」については、女子の間で低年齢群では 89.7%が「最後のセックスでコンドームを使用した」と回答し、16 歳から 19 歳のグループでの使用率は 75.0%であった。男子では定年低群での使用率は 78.6%で、高年齢群では 81.1%であった。

また、「最近 6 ヶ月間の間におけるコンドーム使用」の理由としては女子の間では 8-9 割は「避妊」をあげて、男子では「避妊」を目的としてコンドームを使用した生徒は約 6 割であった(表 23)。

表 23: :ブラジル人学校調査 2007: コンドーム使用の理由-年齢群・男女別

コンドーム使用の理由		女子		男子	
		人数	%	人数	%
13-15 歳	避妊のため	29/35	82.9	16/24	66.7
	性感染症の予防のため	11/35	31.4	11/24	45.8
	HIV 予防のため	10/35	28.6	11/24	45.8
16-19 歳	避妊のため	39/43	90.7	29/42	69.0
	性感染症の予防のため	7/43	16.3	15/42	35.7
	HIV 予防のため	11/43	25.6	20/42	47.6

そして、「最近 6 ヶ月間でコンドームを使用したかったが使わなかった」ことがあると言う質問に対して、低年齢群では男女共に 6-7 割は「問題なくコンドームを使えた」と回答した。しかし、低年齢群の女子の約 25%そして、高年齢群の 33.3%がコンドームを「使いたかったが、使わなかった」と回答し、高年齢群のほうがコンドームを使用できていない傾向が見られた。男子は年齢群における差は見られなかった(表 24)。

表 24: :ブラジル人学校調査 2007: コンドーム使用について-年齢群・男女別

最近半年間でコンドームを使いたかったのに、 使わないことがありましたか？(SA)		女子		男子	
		度数	%	度数	%
13 歳～15 歳	使いたかったが、使わなかった	8	24.2	5	26.3
	問題なく使えた	24	72.7	12	63.2
	使わなかった	1	3.0	2	10.5
	合計	33		19	
16 歳～19 歳	使いたかったが、使わなかった	15	33.3	10	23.3
	問題なく使えた	29	64.4	31	72.1
	使わなかった	1	2.2	2	4.7
	合計	45		43	

「最近 6 ヶ月間におけるコンドーム未使用」の理由としては、女子では「その場になかった」が最も多い回答で低年齢群では 62.5%、高年齢群では 46.2%であった。男子では低年齢群では「相手が使いたがらなかった」を回答したのが 75%で、高年齢群での回答は「その場になかった」が 60%で最も多かった(表 25)。

表 25: :ブラジル人学校調査 2007: コンドーム未使用の理由-年齢群・男女別

最近半年で、コンドームを使いたかったのに、 使えなかった理由(MA)		女性		男性	
		度数	%	度数	%
13 歳～15 歳	その場になかった	5	<u>62.5</u>	2	50.0
	使い方がわからなかった	0		0	
	相手が使いたがらなかった	2	25.0	3	<u>75.0</u>
	その他	2	25.0	0	0.0
	合計	8	100.0	4	100.0
16 歳～19 歳	その場になかった	6	<u>46.2</u>	6	<u>60.0</u>
	使い方がわからなかった	1	7.7	1	10.0
	相手が使いたがらなかった	5	38.5	1	10.0
	その他	1	7.7	3	30.0
	合計	13	100.0	10	100.0

# 《HIV や STD 関連の知識》

全体的に女子の認知度は男子より高いものであった。そして、年齢的にも高いほうが正解率は高かった。項目別で調べると、「日本とブラジルのエイズについて」は4-5割が正解し、「HIV エイズについて」の正解割合は約8-9割であった。しかし、「ウィンドウ期」に関しては正解率は18.2%にとどまり、また「保健所での無料匿名検査」は34.2%の正解率であった。また、「性感染症について」の正解率は僅か2-4割であった。「HIV 予防について」の正解率は高く8-9割であったが、避妊関連の「膣外射精で避妊でない」は42.2%の正解率、また、「安全日でもコンドーム使用が必要」の35.8%正解率で、低いものであった(表 26)。

表 27: :ブラジル人学校調査 2007: HIV 関連知識-年齢群・男女別

項目 / %	女子		男子	
	13-15 歳	16-19 歳	13-15 歳	16-19 歳
ブラジルの HIV 流行の規模	<u>41.7</u>	<u>42.9</u>	<u>46.2</u>	<u>40.1</u>
日本での HIV 流行拡大	<u>42.9</u>	<u>61.3</u>	<u>37.4</u>	<u>51.6</u>
日本国内の性感染症の拡大	<u>48.2</u>	<u>71.6</u>	<u>40.6</u>	<u>55.8</u>
日本国内の若者の中絶拡大	<u>47.1</u>	<u>69.5</u>	<u>33.2</u>	<u>50.3</u>
在日ブラジル人の中絶規模	<u>51.4</u>	<u>64.1</u>	<u>34.8</u>	<u>35.3</u>
HIV はスプーンで感染不可	75.7	87.1	60.2	79.5
HIV はお風呂などので感染不可	64.6	81.3	64.9	72.0
HIV は無防備なセックスで感染可	96.7	98.1	88.1	93.6
HIV は抱擁で感染不可	90.6	98.1	82.5	94.3
健康でも HIV 感染可	88.5	94.2	80.7	89.1
HIV 感染でも長生きできる	58.9	71.0	60.2	72.0
HIV 検査のウィンドウ期	<u>14.8</u>	<u>22.7</u>	<u>16.7</u>	<u>22.3</u>
保健所の HIV 検査	<u>32.0</u>	<u>46.5</u>	<u>22.9</u>	<u>42.9</u>
自覚症状無し STD もある	<u>15.5</u>	<u>26.0</u>	<u>17.6</u>	<u>27.7</u>
HIV 感染は STD 感染増加	<u>46.4</u>	<u>37.7</u>	<u>38.9</u>	<u>33.1</u>
STD 不治療は赴任可	<u>37.9</u>	<u>49.0</u>	<u>34.3</u>	<u>46.4</u>
STD は子宮がん可	<u>28.9</u>	<u>34.6</u>	<u>24.9</u>	<u>28.1</u>
コンドームは STD 予防可	96.8	96.7	90.5	96.1
ピルは避妊に使用	95.7	98.1	78.2	89.0
ピルは HIV 予防不可	78.0	92.9	62.4	87.0
膣外射精のみで避妊不可	<u>33.8</u>	<u>56.6</u>	<u>27.8</u>	<u>65.1</u>
安全日でも無防備では妊娠可	<u>33.3</u>	<u>53.6</u>	<u>19.4</u>	<u>46.7</u>

## 《避妊や予防行動への認識》

全体的に「将来、避妊できるか」と言う質問に対して、「完全にできる」+「できる」と回答した生徒は合わせて約90%で、「STD 予防」及び「HIV」予防に関しても、「予防できる」と認識している生徒は9割くらいであった。しかし、「望まなくても妊娠する可能性があるか」に対する回答は「完全にはない」は僅か3割程度に自信が減少し、「完全にはない」と「ない」をあわせても、約7割に減少する。また、「STD」や「HIV」に感染する可能性があるかに関しては、約9割が「可能性がない」と回答している(表 28)。

従って、全体的に、避妊への意識はあるが、妊娠しないという確信に対する自信は減少する傾向が見られた。

表 28: :ブラジル人学校調査 2007:避妊・HIV/STD 予防に関する認識

*「分からない」を除く	完全同意	同意
将来、赤ちゃんがまだ欲しくないときに、避妊できる	<u>57.8</u>	33.0
将来、STDに感染しないように予防できる	64.2	30.9
将来、HIV に感染しないように予防できる	65.3	29.7
	完全不同意	不同意
将来、赤ちゃんがまだ欲しくないと思っけていても、妊娠可	<u>27.8</u>	44.0
将来、STDに感染する可能性	53.0	35.5
将来、HIV に感染する可能性	53.6	35.3

### [避妊・望まない妊娠]

男女別及び年齢群別で調べると、「避妊への自信」に繋がる質問に対して、特に女子では「完全に避妊ができる」と回答した生徒は約6割で、それが「望まない時に妊娠の可能性がある」に対して「全く同意しない(誤り)」と回答した生徒は低年齢群では3割程度、そして、高年齢群では僅か2.6割であった。

男子に関しては、関しても「避妊」について「完全に避妊できる」と回答した生徒は約5割で、「望まない時に妊娠させる」に対して「全く同意しない」と回答した生徒は25%前後であった(表 29)。

### [STD・HIV 予防]

STD 及び HIV 予防に関して、女子の間では、「完全に予防できる」と回答した生徒は6-7割であり、年齢が上がるにつれ「完全に予防できる」自信が上昇している傾向があった。

一方、男子では全体的に年齢が上がるにつれ「完全に予防できる」または「感染する可能性」に対して「全く同意しない(誤り)」と回答した生徒が減少している傾向が見られた(表 29)。

表 29: :ブラジル人学校調査 2007:避妊・HIV/STD 予防の実行力への認識-年齢群・男女別

	女子				男子			
	13-15 歳		16-19 歳		13-15 歳		16-19 歳	
*「分からない」を除く	完全同意	同意	完全同意	同意	完全同意	同意	完全同意	同意
将来、赤ちゃんがまだ欲しくないときに、避妊できる	<u>63.0</u> 133/211	30.3 64/211	<u>60.2</u> 80/133	33.8 45/133	<u>53.0</u> 80/151	33.8 51/151	<u>52.3</u> 68/130	35.4 46/130
将来、STDに感染しないように予防できる	<u>62.9</u> 124/197	34.0 67/197	<u>71.9</u> 87/121	26.4 32/121	<u>66.2</u> 96/145	27.6 40/145	<u>58.5</u> 72/123	34.1 42/123
将来、HIV に感染しないように予防できる	<u>66.5</u> 135/203	30.5 62/203	<u>72.6</u> 90/124	25.8 32/124	<u>64.1</u> 98/153	30.7 47/153	<u>57.9</u> 73/126	31.0 39/126
	完全誤り	不同意	完全誤り	不同意	完全誤り	不同意	完全誤り	不同意
将来、赤ちゃんがまだ欲しくないと思っていても、妊娠可	<u>31.5</u> 70/222	38.7 86/222	<u>26.7</u> 35/131	51.9 68/131	<u>26.0</u> 32/129	41.0 63/129	<u>24.8</u> 45/173	48.8 71/173
将来、STDに感染する可能性	56.1 101/180	29.4 53/180	54.5 67/123	36.6 45/123	<u>55.3</u> 78/141	31.9 45/141	<u>44.2</u> 53/120	47.5 57/120
将来、HIV に感染する可能性	55.2 95/172	30.2 52/172	56.8 67/118	34.7 41/118	<u>58.0</u> 82/139	29.5 41/139	<u>41.5</u> 49/118	50.0 59/118

## 《コンドーム使用への認識》

コンドーム使用への認識に関しては、全体的に「コンドームを使用したい」に対して「完全に同意」と回答した生徒は 75.5%であったが、「コンドームを使うことができる」と言う質問に対して「完全に同意」と回答した生徒は 67.1%に減少している傾向が見られた(表 30)。

表 30: :ブラジル人学校調査 2007: 表 30 「コンドーム使用」への意識

コンドーム使用への意識	完全同意	同意
将来、セックスしたらコンドームを <u>使いたい</u>	75.5 519/687	15.3 105/687
将来、セックスしたらコンドームを <u>使うことができる</u>	67.1 448/668	27.8 186/668

男女及び年齢群別で調べると、特に女子の間では「コンドームを使用したい」と「コンドームを使用できる」の差が大きく、「使用したい」と回答した女子生徒は 80%以上であり、「使用できる」と回答した生徒は低年齢群では 69%に減少、また、高年齢群でも 76.1%に減少している傾向があった。

一方、男子では「コンドームを使用したい」及び「使用できる」の差は見られず、全体で 6 割であった(表 31)。

表 31: :ブラジル人学校調査 2007:コンドーム使用への実行力における認識-年齢群・男女別

	女子				男子			
	13-15 歳		16-19 歳		13-15 歳		16-19 歳	
	完全同意	同意	完全同意	同意	完全同意	同意	完全同意	同意
将来、セックスしたらコンドームを使いたい	<u>85.0</u> 192/226	10.6 24/226	<u>81.0</u> 113/140	12.1 17/140	69.7 122/175	18.3 32/175	64.3 95/143	22.4 32/143
将来、セックスしたらコンドームを使うことができる	<u>69.0</u> 147/213	27.2 58/213	<u>76.1</u> 102/134	18.7 25/134	62.6 109/174	32.8 57/174	61.2 90/147	31.3 46/147

## 《セックスへの容認》

男女別で調べると、女子のほうがセックス経験への容認度が男子より低い傾向であることが分かる。しかし、年齢が上がるにつれ、その容認度高くな傾向が見られた(表 32)。

表 32: :ブラジル人学校調査 2007: セックスへの容認度-年齢群・男女別

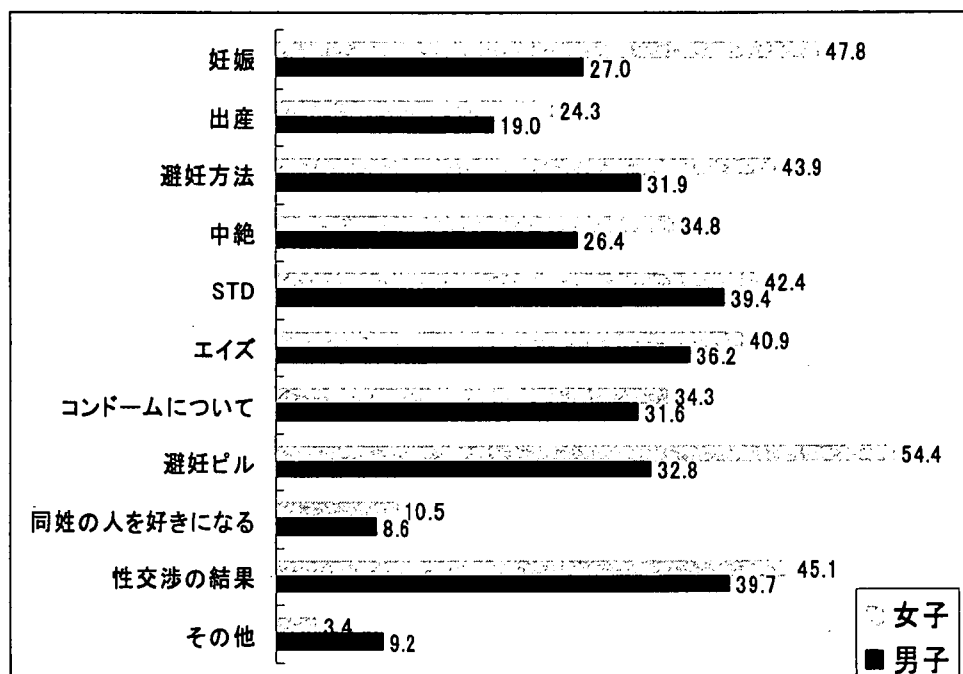
			女子		男子	
			人数	%	人数	%
今のあなたの年齢でセックスすること	13 歳～15 歳	完全に同意する	14	<u>5.8</u>	50	<u>29.6</u>
		同意する	34	14.1	37	21.9
		同意しない	82	34.0	61	<u>36.1</u>
		完全に同意しない	111	<u>46.1</u>	21	12.4
		合計	241		169	
	16 歳～19 歳	完全に同意する	25	<u>18.4</u>	73	<u>51.8</u>
		同意する	42	30.9	37	26.2
		同意しない	46	33.8	26	<u>18.4</u>
		完全に同意しない	23	<u>16.9</u>	5	3.5
		合計	136		141	
自分と同じ年齢の人がセックスすること	13 歳～15 歳	完全に同意する	14	<u>6.3</u>	45	<u>28.3</u>
		同意する	40	17.9	37	23.3
		同意しない	104	46.4	58	<u>36.5</u>
		完全に同意しない	66	<u>29.5</u>	19	11.9
		合計	224		159	
	16 歳～19 歳	完全に同意する	21	<u>16.4</u>	70	<u>51.1</u>
		同意する	47	36.7	38	27.7
		同意しない	48	37.5	24	<u>17.5</u>
		完全に同意しない	12	<u>9.4</u>	5	3.6
		合計	128		137	



# 《もっと知りたいテーマ》

複数回答可能な質問に対して、特に女子に関しては「妊娠」、「避妊ピル」がもっと知りたいテーマがあげられ、男子では「STD」及び「性交渉の結果」が上げられた(図 22)。

図 22: ブラジル人学校調査 2007: もっと知りたいテーマ(複数回答) - 男女別



また、上記の情報を得るための手段としては下記の通りであった：

「学校で」	74.3%
「ポルトガル語の HP」	39.7%
「ポルトガル語の e-mail 相談」	23.9%
「ポルトガル語の電話相談」	3.1%

《「性経験」に対して関連が見られた項目》

全体的に、[夜遊びで朝帰りする頻度]と「セックス経験」を調べると、[夜遊びの頻度]が高いほど、セックスの経験者が多い傾向が見られた。「性経験者」のうち[毎週末]朝帰りすると回答した生徒は71.8%、[月に1-2回]は38.9%、[2-3月に1回]は31.1%、そして[朝帰りしない]は10.8%であった(表33)。

また、「性経験者」のほうは[夜遊びして朝帰り]する傾向があり、「性経験者」の女子では[時々]朝帰りをする生徒が31.2%で最も多かった。男子の「性経験者」では[月に1-2回]朝帰りする生徒が最も多く、34.1%であった(表34)。

表 33: ブラジル人学校調査 2007: 朝帰り経験者におけるセックス経験

夜遊び頻度	性経験あり	性経験なし	合計
毎週末	<u>28 (71.8%)</u>	11 (28.2%)	39 (100%)
月に1-2回	51 (38.9%)	80 (61.1%)	131 (100%)
2-3月に1回	42 (31.1%)	93 (68.9%)	135 (100%)
しない	50 (10.8%)	412 (89.2%)	462 (100%)

表 34: ブラジル人学校調査 2007: 性経験者における朝帰りの頻度-年齢群・男女別

あなたは夜遊びをして、朝帰りをしますか？				
	性経験あり	性経験なし	合計	
女性	毎週末する	12 (12.9%)	5 (1.5%)	17 (4.1%)
	月に1, 2回する	22 (23.7%)	47 (14.4%)	69 (16.5%)
	時々、2, 3ヶ月に1度	<u>29 (31.2%)</u>	44 (13.5%)	73 (17.4%)
	しない	26 (28.0%)	<u>222 (68.1)</u>	248 (59.2%)
	その他	4 (4.3%)	8 (2.5%)	12 (100%)
	合計	93 (100%)	326 (100%)	419 (100%)
男性	毎週末する	16 (18.8%)	6 (2.2%)	22 (6.1%)
	月に1, 2回する	<u>29 (34.1%)</u>	33 (12.0%)	62 (17.3%)
	時々、2, 3ヶ月に1度	13 (15.3%)	49 (17.9%)	62 (17.3%)
	しない	24 (28.2%)	<u>180 (65.7%)</u>	204 (56.8%)
	その他	3 (3.5%)	6 (2.2%)	9 (2.5%)
	合計	85 (100%)	274 (100%)	359 (100%)

そして、「朝帰り」する「遊び場所」が「恋人の家」と回答した生徒のうち、性経験者が最も多く、女子では75%、男子では85.7%であった。また、女子では、「恋人の家」の次に行き先として「ディスコ」の場合、性経験者は未経験者より多く、52.1%が性経験者であることが分かった(表35)。

表 35: ブラジル人学校調査 2007: 夜遊びの遊び場別における性経験の有無-年齢群・男女別

項目	女子			男子		
	性経験あり	性経験なし	合計	性経験あり	性経験なし	合計
友だちの家に行く	4 (15.4%)	22 (84.6%)	26 (100%)	7 (17.9%)	32 (82.1%)	39 (100%)
恋人の家に行く	6 (75.0%)	2 (25.0%)	8 (100%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	7 (100%)
ディスコ	38 (52.1%)	35 (47.9%)	73 (100%)	19 (46.3%)	22 (53.7%)	41 (100%)
ゲームセンター	0 (0%)	2 (100%)	2 (100%)	1 (10.0%)	9 (90.0%)	10 (100%)
公園、駅、街	0 (0%)	1 (100%)	3 (100%)	8 (50.0%)	8 (50.0%)	16 (100%)

「性経験」をしている生徒が、男女共により[タバコ]の経験している傾向が見られた。

また、[飲酒]に関しては「性経験者」の間で質問票で上げられた項目のなか、最も経験されている行為であった。女子の「性経験者」では 87.1%が[飲酒]の経験があり、男子では 74.4%が[飲酒]の経験もあった。

[ドラッグ]に関しては、「性経験者」におけるドラッグの経験は、女子では 8.2%、男子では女子より高く 12.2%であり、「性経験者」における[ドラッグ]の経験が高い傾向が見られた。また、「ドラッグ」を経験している生徒の間、有意に[セックス]を経験していることが分かった。

そして、性経験者で[暴力をふるった]経験もある生徒は特に男子で高く、35.4%であった。

しかし、[自傷行為]に関しては、女子の間では性経験を問わず約 14%の経験率であった(表 36)。

また、[ドラッグ]経験者に関しては男女共に、有意に性経験者多いことが分かった(表 37)。

一方、[タバコ、飲酒、ドラッグ、暴力、自傷行為]などを「経験していない」生徒のほうが有意に「性経験もない」と言う結果が得られた(表 38)。

表 36:ブラジル人学校調査 2007: 様々な経験者における性経験の有無

		性経験あり		性経験なし		合計
タバコの経験	女性	なし	44 51.8	246 81.2	290 74.7	
		あり	41 48.2	57 18.8	98 25.3	
		合計	85 100.0	303 100.0	388 100.0	
	男性	なし	40 48.8	210 79.5	250 72.3	
		あり	42 51.2	54 20.5	96 27.7	
		合計	82 100.0	264 100.0	346 100.0	
飲酒の経験	女性	なし	11 12.9	169 55.8	180 46.4	
		あり	74 87.1	134 44.2	208 53.6	
		合計	85 100.0	303 100.0	388 100.0	
	男性	なし	21 25.6	140 53.0	161 46.5	
		あり	61 74.4	124 47.0	185 53.5	
		合計	82 100.0	264 100.0	346 100.0	
ドラッグの経験	女性	なし	78 91.8	299 98.7	377 97.2	
		あり	7 8.2	4 1.3	11 2.8	
		合計	85 100.0	303 100.0	388 100.0	
	男性	なし	72 87.8	261 98.9	333 96.2	
		あり	10 12.2	3 1.1	13 3.8	
		合計	82 100.0	264 100.0	346 100.0	
暴力をふるわれた経験	女性	なし	79 92.9	294 97.0	373 96.1	
		あり	6 7.1	9 3.0	15 3.9	
		合計	85 100.0	303 100.0	388 100.0	
	男性	なし	74 90.2	247 93.6	321 92.8	
		あり	8 9.8	17 6.4	25 7.2	
		合計	82 100.0	264 100.0	346 100.0	
暴力をふるった経験	女性	なし	73 85.9	272 89.8	345 88.9	
		あり	12 14.1	31 10.2	43 11.1	
		合計	85 100.0	303 100.0	388 100.0	
	男性	なし	53 64.6	203 76.9	256 74.0	
		あり	29 35.4	61 23.1	90 26.0	
		合計	82 100.0	264 100.0	346 100.0	
自傷行為の経験	女性	なし	73 85.9	258 85.1	331 85.3	
		あり	12 14.1	45 14.9	57 14.7	
		合計	85 100.0	303 100.0	388 100.0	
	男性	なし	73 89.0	243 92.0	316 91.3	
		あり	9 11.0	21 8.0	30 8.7	
		合計	82 100.0	264 100.0	346 100.0	